

平成29年度第1回なかい戦略みらい会議 指摘事項への回答

基本的戦略1 里都まちブランド・里都まち「耕業」による地域経済活性化戦略

○新規就農者の座談会について、年1回では少ないのではないかと。

⇒（回答）産業振興課

農地プランの関係で、計画の見直しが必要なため年に一度新規就農者が集まり、その際に座談会も開催している。新規就農者への支援としては、新規就農者の求めに応じて、農業委員を紹介して相談に応じている。また、県の農業技術センターの職員が、毎月1回新規就農者の農地を確認しに来ている。このようにして、新規就農者への継続的な支援を行っている。

○直売所は土日しか営業していないが、人気があるので毎日営業したほうがよいのではないかと。

⇒（回答）産業振興課

民間が運営をしている直売所の営業体制について、町から変更を求めることは難しい。また、土日に直売所のスタッフとして働いている方は、農産物を出荷している農家の家族であることが多く、家の農作業もやりながらであることから、人手的にも課題がある。

なお、現在なかい里都まちC A F Eで直売所の農産物を平日に販売している。それにより平日の需要がどれくらいあるのかを検証することができ、今後の直売所の営業日を見直すきっかけになることも考えられる。

基本的戦略2 里都まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略

○「情報コンテンツ等開発支援事業」について、事業推進に向けた具体的な考え方や計画を示されたい。

⇒（回答）地域防災課、企画課

なかい里都まちC A F Eのホームページを本年3月に立ち上げた。当カフェは交流拠点であるとともに、情報発信拠点でもある。このホームページ上で、町で推進しているプロジェクトの情報や町のイベント情報の掲載、施設の貸出と施設を利用したイベント実施の紹介、町内で活動している団体のフェイスブックを紹介したりしている。

当該事業を推進するためにこの取組みを位置付け、町とお互いに情報を共有、提供しながら、充実した情報の提供に努めていく。

また、その他にも子育て支援サイトでネウボラについての情報発信をするなど、所管課ごとに情報提供を行っている。

しかし、そのために総合戦略全体としての目的などが伝わりにくい状態となっているとも考えられる。

そこで、町ホームページに新たにバナーを設置して、総合戦略の一環として取り組んでいる内容を一元化し、効率的かつ効果的に情報発信を行っていく。

○自治会長の負担になるからとの理由で、町広報へのチラシの折り込みを断られたが、出したい情報が埋もれてしまうのではないか。

⇒（回答）地域防災課

町からの情報以外はチラシの折り込みを依頼されてもお断りしている。一方で、広報誌の記事に掲載するのであれば可能。

なお、「中井町町民活動団体登録制度」を創設しており、それに登録された団体であれば、チラシの折り込みを可能にすることも検討している。ただし、それを無制限に認めれば、配布する自治会長の負担は増加することから、3月末の自治会長会議の議題として挙げて議論をする。

基本的戦略3 里都まち子育て応援戦略

○子育て応援特設サイトにイベント情報、予防接種の情報、夜間の当番医の情報なども掲載されたい。

⇒（回答）健康課

イベント情報については、特設サイトのトップページに掲載されており、予防接種の情報も見ることができる。

一方で、夜間の当番医については、足柄上や秦野、小田原医師会においては当番医制ではなく休日急患診療所に対応しており、町ホームページのトップページ「救急・消防－救急医療」から足柄上医師会等と神奈川県ホームページの県内休日急患診療所のページにリンクさせている。今後は特設サイトから救急医療のページが直接見られるよう、バナーを作成する予定である。

○「里都まち暮らし応援隊事業」について、同窓会を企画して、なかい里都まちCAFÉで食事をしてもらえば、地域の活性化にもなるのではないか。

具体的な話を決めてほしい。

⇒（回答）地域防災課、企画課

本事業については、若年層を中心に中井町から転出をしても、再び中井町に戻ってくるための取組みを推進することが目的であることから、ご指摘のようになかい里都まちCAFÉで同窓会の企画を実施することは効果的であると捉え、運営者とも企画の検討を行っている。

シティプロモーションのWGなどを通して、町を盛り上げ、魅力を伝えていきたい

いと考えている方の発掘も進めており、なかい里都まちC A F Eを拠点に活動の展開を図っている。

このように、町のために精力的に活動する方を里都まち暮らし応援隊員と位置付け、魅力の発信や企画に携わっていただくことで、中井町へ戻ってきたいという気持ち（愛着）の醸成を図っていきたい。

なお、転出をしても中井町との関係が切れないようにするために、例えばアプリなどで登録をすることで町のイベント等の情報が自動的に配信されるようなサービス、つまり町から能動的に情報を発信する仕組みについても検討をしていきたい。

基本的戦略4 里都まち総合プロデュース戦略

○中央公園の利用者アンケートについて、より利用者の傾向などを分析できる内容にして、収益を上げる方法などを模索するべきではないか。

⇒（回答）まち整備課

ご指摘を踏まえ、指定管理者と質問項目の見直しの調整をして、利用者のニーズを把握できるようにしたい。